

岩手教区報

第376号
 立教187年4月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



信仰随想
誠心
 前岩手教区長
 加藤昌弘

「朝起き、正直、働き」

ある人に「何と読むのですか」と尋ねられ、諸井國三郎先生が書かれた「朝お木 正志木 働ら木」の額が居間に掛けられている気が付いた。「朝起き」「正直」「働き」は、少年会の歌にもあるように、小さい時から聞かされてきたよく知っているお道の教えである。

「朝起き」という言葉からは、日が上がる時に目を覚ますというイメージがあるが、今は仕事も多様化して、24時間の仕事も珍しくないため、ピンとこない人もいるかもしれない。朝は十月十日と書き、旬満ちて母親から生まれる理、始まる理。本部のおつとめが日の出に合わせて勤めることも併せて考えると、「朝起き」とは、一日の始めにあたり、感謝の心で始めるということである。また、「朝起きさされるのと、人を起こすのでは、大きく徳、不徳に分かれる」とも教えらるる。

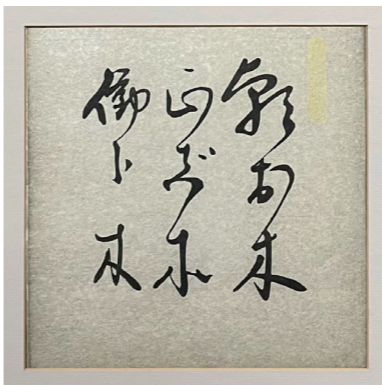
いずれ、朝起きの人時間は守るとも言える。

「正直」については、「陰でよく働き、人をほめるは正直」と教えられる。とかく人の見ている時は頑張り、人がいない時は手を抜きがちなもの。人の見えない時こそ誠を尽くす姿を受け取って下さる。人の運命は陰の徳で決まる。

「働き」は「はたはたの者を楽さすからはたらくというのや」と教えられ、「人間ははたらくためにこの世に生まれてきたのやで」とも聞かせて頂く。身の周りの人の幸せのために働くことが、本来の人としての在り方ということになる。

ところで、再建が必要な会社には次の共通点があるとのこと。一つ朝の出勤状態が悪い。二つ会議ではほかの人の悪口ばかりが出る。三つ自分の仕事しかりない。ほかの人、部署が困っていても見て見ぬふりをする。ということは、「朝起き」「正直」「働き」とい

「働き」が出来ていれば、会社も良い方向に向くということになる。「朝起き」「正直」「働き」とい



う大変やさしく分かりやすい言葉でお教え下さる教祖の教えは、正しく全てに通ずる真実の教えである。忘れかけていたが、これからはこの額を見て、心正して過ごしたいものだ。

※今月号より信仰随想の連載がスタートします。ご執筆下さるのは、前教区長加藤昌弘先生、檀割孝美先生、吉澤正人先生のお三方です。

計報

高橋 紀之さん〔83歳〕
 盛岡支部・園岩分教会長
 令和6年3月5日出直された。

行事予定

【4月分】

- 1日 役員会議(10時)
- 6日 学生担当委員会例会 19時30分
- 13日 女子青年例会(10時)
- 青年会「三年千日勉強会」(14時)
- 災害隊例会(18時)
- 少年会例会(18時)
- 29日 全教一斉ひのきしんデー

年祭に向かって努力と丹精を

婦人会主任 鈴木真喜



教祖140年祭への三年千日の活動も2年目を迎えました。天理時報を読ませて頂いたり、周りの方々の熱心に活動されている様子を見聞き致しまして、心の励みにさせて頂いている今日この頃です。

さて、本年4月19日、教会本部中庭に於いて、「天理教婦人会第106回総会」が開催されます。式典では、真柱様よりメッセージを頂戴致します。おちばに帰参される方もされない方も、真柱様のお言葉を心に治めて、三年千日を勇んで通らせて頂きたいと思えます。婦人会では、本年も昨年と同様に、

成人目標

「ひながたをたどり
 陽気ぐらしの台となりましょう」

活動方針

- 「教祖140年祭に向かって育つ努力、育てる丹精に徹しよう」
- 元なる思召を伝え広めよう
- 老いも若きもおたすけの喜びを味わおう

と、お示し頂いています。

婦人会員の年齢層は、高校生からの幅広いものとなります。『老いも若きも』とは、その人その人に出来るおたすけや、教祖のひながたの歩み方があるという事です。年齢を重ねたからとか、若いから出来ないという決めつけず、自分なりに出来る事をさせて頂くことが大切だと思います。教区婦人会では、次代を担う方々の育成として、「女子青年親睦会」「後継者勉強会」を開催します。教区内での親交を深め、お互い励まし合う場にしたいと計画しています。

また、『元なる思召』とは、「親神様は、私達人間の陽気ぐらしをするのを見て、共に楽しみたいと思し召され、この世と人間をお創り下された」と聞かせて頂いておりますが、その元を知るには、原典を紐解く必要があると思えます。6月30日に開催する「岩手教区婦人会員の集い」では、教えを深く身につけたいという思いから、「十全の守護とおつとめ」と題して、加藤昌弘前教区長先生よりご講話を頂くことになっておりますので、一人でも多くの会員のご参加をお待ちしております。

本年度も教区婦人会活動の上に、ご理解ご協力下さいますよう、よろしくお願い致します。

立教187年「全教一斉ひのきしんデー」 ～成人の旬 一手一つにひのきしん～

教祖140年祭に向かう年祭活動2年目に、教信者がより集って互いに勇ませ合い、一人ひとりが日頃からひのきしんを実践するきっかけとなるよう、勇んでつとめさせて頂きましょう。

― 会場一覧 ―

【九戸支部】

4月28日 9時半	野田村立野田小学校
4月29日 8時半	洋野町立中野小学校
〃 9時	川尻海岸
〃 9時半	陸中戸田分教会
〃 10時	洋野町立大野小学校

【二戸支部】

4月29日 6時	浄法寺診療所
〃 9時	田代平道路
〃 9時半	一戸町河川公園
〃 10時	北福岡分教会
〃 11時	金田一分教会付近

【盛岡支部】

4月28日 11時	山崎堀切地区河川公園
4月29日 9時	沼宮内分教会
〃 9時半	盛岡城跡公園

5月3日 10時	岩盛分教会
5月4日 9時半	岩手教務支庁
5月5日 6時半	盛岡市大通り周辺
5月16日 9時半	もりおかこども病院
5月18日 9時	老人ホームあんづの里

【三陸支部】

4月29日 6時半	吉里吉里駅前公園
〃 9時半	山田町荒神海水浴場
〃 9時半	釜石市八雲公園
〃 9時半	国立公園浄土ヶ浜

【花巻支部】

4月29日 7時半	城山公園
〃 9時	花巻小学校
〃 9時半	北上市第1分団第1部
〃 10時	遠野市鍋倉公園

【奥州支部】

4月29日 8時半	国保金ヶ崎診療所
〃 8時半	JR陸中折居駅
〃 10時	江刺巖宮コミュニティセンター

【県南支部】

4月29日 10時	愛与布教所周辺
〃 10時	吉野森公園
〃 10時	陸前高田大野海岸
〃 10時	桜保育園
〃 10時	特老ホームひなた苑

第2回「ようぼく一斉活動日」

― 岩手教区会場一覧 ―

開催日	会場	開催日	会場
立教187年6月1日(土)	立教187年6月2日(日)	立教187年6月2日(日)	立教187年6月2日(日)
三陸支部	奥州支部	九戸支部	二戸支部
釜石港分教会 10時	岩栄原分教会 9時半	南陸中分教会 13時	北福岡分教会 10時
		盛岡支部 教務支庁 9時45分	盛岡支部 教務支庁 9時45分
		花巻支部 花巻分教会 13時	花巻支部 花巻分教会 13時
		奥州支部 磐井分教会 13時	奥州支部 磐井分教会 13時
		開会挨拶、おつとめ、諭達拝読、教会本部ビデオメッセージ、会場別プログラム、閉会挨拶	開会挨拶、おつとめ、諭達拝読、教会本部ビデオメッセージ、会場別プログラム、閉会挨拶
		参加御供 300円(中学生以下不要)	参加御供 300円(中学生以下不要)

※会場別プログラム

九戸 「扉開いて」視聴	三陸 おさづけ取り次ぎ実修
二戸 おてふり勉強会	花巻 「教祖のひながた」パネルディスカッション
盛岡 親神様のお働きについて考える	奥州 「紙芝居おやさま」視聴
	県南 「紙芝居おやさま」視聴



献血推進委員会

「献血推進研修会」開催報告

教区献血推進委員会は、去る3月1日(金)、教務支庁を会場に、岩手県赤十字血液センター所長増田友之氏を講師に迎え、「献血推進研修会」を開催し、教区役員と各支部より9人が参加した。

増田講師は、献血の歴史的背景や目的など、血液事業についてわかりやすく説明し、「血液は人工的に造ることができない」「採血した血液は日数がもたない」「一日約3千人が輸血を必要としている」「20代30代の献血者数が減ってきている」「今後輸血を必要とする高齢者はますます増加する」などを再認識し、さらなる献血推進活動の必要性が感じられた研修会となった。



青年会

「三年千日勉強会」【4月13日】

教区青年会は、「三年千日勉強会」を左記の要項で実施します。昨年に続き2回目となる今回の勉強会では、本会の基本方針の一つである、「教えに基づく対話」に重点をおき、昨年11月25日に開催された、「第97回天理教青年会総会」における青年会長様のお話をもとにして、対話を行います。

また、ゲストとして青森教区青年会委員長をお招きし、両教区の会活動の意見交換も行います。教区青年会同士の親交を深める絶好の機会でもありますので、各支部より多くの参加をお待ちしております。

記

日時	4月13日(土) 14時～16時
会場	教務支庁
内容	対話、神名流し
持ち物	ハッピー、筆記用具
申込み	村松義朗委員長迄 (080-5553-3160)

